

議員研修

北空知議会 議長連絡協議会 研修会・親睦交流会

協議会に加盟する一市四町の議員が一同に介し、秩父別町で開催された。

午前中はパークゴルフ大会により議員の親睦交流が図られ、午後からは研修会が開催された。

演題は「今後の農業について」と題し、拓殖大学北海道短期大学教授 岡崎正昭氏の講演を拝聴した。

先生は現況での日本、世界の農業を多面的に比較、分析され、その結果「現在の日本農業には重い問題も多いが全く卑下することはなく、戦略的経営、的確な政策を打ってゆけば、日本農業はグローバル経済下で確固たる位置を占めることが出来る」と力説された。

視点、分析力、イノベーションの有用性を強く感じた講演だった。
(小坂)

空知町村議会議長会 議員研修会

7月24日北竜町において空知町村議会議長会主催の議員研修会が開催された。空知14町より約140人ほど参加のもと、講師に北海道大学公共政策大学院特任教授の小磯修二氏より「地方が輝くための創造と革新に向けた地方戦略」と題して講演を受けた。

○座標軸の中心を地方に置く
見慣れた日本地図も北海道を中心に視点を変えたと世界の経済発展はほとんどが北半球であることが解かる。日本は北に位置して好条件であり、座標軸を北海道に置くことでさらに優位性が出てくる。

○地方からの主張
日本はいつのまにか東京発の情報で思考され、ハンディのある地方の主張と戦略は東京発の発想と政策では限界がある。地域の立場で思考し、洞察する力をつけるべき。

○地域内連関力の強化による経済力の向上
総合的な需要創出戦略が必要で道外に漏れている消費の道内への還元、消費を受け止める生産競争力の強化、それに伴う道内投資の増加、地域内循環を高め、持続可能な経済発展を。

○日本の一極集中構造
東日本大震災から3年が経過し、非常時を想定した国や地域の社会システム全体を見直すべきである。北海道は日本海と太平洋に面する地勢条件、札幌圏の高度な中枢都市機能、食料、水の供給力、リスク分散に適した空港、港湾が整備され、政府機能のバックアップ、民間企業のバックアップの最適地である。

○観光は北海道活性化の切り札となるのか
観光は幅広い複合産業であり、多様な形で経済波及効果を受けている。地域内調達、地域内循環を高めていくこと

で消費が効率的に地域経済に結びつき、多くの産業、雇を生み出すことになる。

○人口減少下で地方が輝けるか
北海道は既に人口減少を経験して15年、人口減少に対応した行政サービスをを行うために市町村行政を超えた広域連携行政が必要となる。さらに行政サービスの水準をどこまで落とせるか、自治体と住民の真剣な会話が必要と締めくくられた。
(小松)



議員コラム

燃えるようなひまわりのシーズンも終わり、そよ風が黄金の稲穂を波打ち今年も豊稔の秋を迎えた。

今夏を振り返ると、公民館前広場でのラジオ体操から始まり、ひまわりの

里でのウォーキングをしながら、日

一日と変わるひまわりの生涯をかい

ま眺める、緑(幼少

期)・黄(青年期)・黒(老年期)と開花の変貌ぶりを見るのがとても楽しく、爽快であった。今年の満開は約一週間足

らずだが素晴らしい出来栄で、観光客が「ラベンダーよ



り丘巻で感動した」とか、

ひまわりの里を見て帰りぎわに寄付をしてくれる人が増え、

嬉しい限りである、特に中学生の「世界のひまわり」は、

例年になく見事で、頑張った生徒達を称えたい。

また、観光マナーが良く、ゴミも少

なかつた。ひまわりは私達に活力と

勇気と希望を生む

幸せの花だ。まさに「日本のパワースポットの町」をキャ

ッチフリーズとして脚光を浴びる日を夢見る夏であった。

(佐光)

定例会を傍聴しませんか

第3回定例会は

9月10日〜16日の予定です。

